

令和3年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生涯学習推進課／文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	224,972,407円(令和3年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		R03 下半期	R03 上半期	R02 下半期	R02 上半期	R01 下半期
利用者数(単位:人)		42,597	22,936	40,358	22,236	90,679
各室稼働状況(%)	大研修室	68.3	61.2	68.4	54.0	73.7
	中研修室	71.0	66.9	68.7	55.6	84.2
	研修室50	68.0	62.9	76.2	70.2	81.3
	研修室30	75.8	70.9	83.7	87.1	87.1
	小研修室1	91.4	87.0	83.3	76.6	87.1
	小研修室2	74.1	67.7	69.7	60.5	88.3
	小研修室3	74.1	63.7	68.7	68.5	84.8
	小研修室4	85.0	78.2	79.6	72.6	86.5
	和室研修室1	8.5	8.8	8.2	6.5	24.0
	和室研修室2	64.6	55.6	62.6	58.1	78.4
	音楽スタジオ大	58.1	54.8	53.7	46.0	72.5
	音楽スタジオ小1	66.6	56.4	61.6	72.6	61.4
	音楽スタジオ小2	0.6	1.6	—	—	35.7
	パソコンルーム	63.9	66.9	51.7	36.3	70.8
	クラフト室	45.5	49.1	45.2	48.4	72.5

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ①芸術文化への参加・参画の促進 ②芸術文化を担う人材の育成、顕彰 ③芸術文化施設の充実 ④伝統的芸術文化の伝承や活用 ⑤芸術文化による地域活性化 ⑥新たな協働による芸術文化の振興	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャー4講座開催、161人受講。ITコラボレーター会と協働のパソコン講座第2期開催、58人受講 ②市民自主講座8講座開催 ③ハートフルスクエアG情報誌の発行(Vol.84、85、86) ④市民活動ルームを運営(延べ1,134人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(352件の相談、51件のボランティアコーディネート) 2. 男女共同参画推進業務 ①ワーク・ライフ・バランス事業、大学、短期大学との男女共同参画連携講座事業など7事業開催、延べ358人受講。 ②岐阜市女性センターYouTubeチャンネルによる情報発信、「ワーク・ライフ・バランス及び女性に対する暴力をなくす運動」関連図書の展示を実施。 ③男女共同参画つながり創出事業を開催。 ④電話・面接相談を開催、延べ相談件数669件(電話相談:536件、面接相談:133件)。女性のための生き方・働き方大相談会47件。 3. 市民芸術文化振興業務 ①岐阜市民文化祭のうち、芸術祭(4部門、出演者延べ136人)、文芸祭(展示数延べ484点)を開催し、美術展覧会は中止した。 ②岐阜市芸術文化奨励賞を2名に授与した。 ③市民文化祭は、中心市街地にある生涯学習センター、文化センター、市民会館、ぎふメディアコスモスと連携して開催した。 ④芸術祭の中で邦舞公演を実施した(邦楽は中止)。 ⑤岐阜市芸術文化奨励賞受賞者の作品・パネル展示は、上半期に実施済。 ⑥市芸術文化協会との連携によるリレートーク(下半期1回)、まちかどコンサート(下半期2回)の開催、広報誌の発行(11月、3月)。
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) 〃(15・10項目)(年2回) 〃(12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦自家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①2/22に実施 ②11/17、1/19、3/16に実施 ③毎週水曜日に実施 1/25に実施 9/14に実施 ④1/25に実施 ⑤2/22に実施 ⑥3/4～/18に実施 ⑦11/12、1/12、3/10に実施 ⑧12/28に実施 ⑨2/22に実施 ⑩12/10～3/18に実施 ⑪今年度該当しない(次回令和4年度)
	定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備保守点検(年2回) ④自動扉保守点検(年4回) ⑤パソコン及び周辺機器保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回)	定期点検業務 ①保全点検:10/26、1/26に実施、リモート点検で毎月実施 ②10/26、11/30、12/28、1/25、2/22、3/29に実施 ③11/30に実施 ④12/28、3/29に実施 ⑤3/29に実施 ⑥9/28に実施 ⑦11/30、3/29に実施

施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得などを行っている。 ③関係法令を順守し、運営されている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	実施期間：10／15～21、11／8～14、12／1～7、1／7～13、2／21～28、3／15～21 アンケート総数：264件
利用者アンケートの実施結果	○利用した部屋は 大研修室 7.2%、中研修室 9.5%、研修室50 6.4%、研修室30 5.7%、小研修室1 19.7%、小研修室2 8.3%、小研修室3 10.2%、小研修室4 12.1%、和室研修室1 4.2%、和室研修室2 4.5%、音楽スタジオ大 3.0%、音楽スタジオ小1 4.2%、音楽スタジオ小2 0%、クラフト室 4.9%、パソコンルーム 0% ○スタッフの対応について 満足 76.1%、やや満足 10.6%、ふつう 12.9%、やや不満 0.4%、不満 0.0% ○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 75.0%、やや満足 11.7%、ふつう 11.4%、やや不満 1.5%、不満 0.4% ○全体的な満足度 満足 75.8%、やや満足 12.1%、ふつう 11.7%、やや不満 0.4%、不満 0.0%
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・15分前からしか鍵を貸していただけないのですが、対応を臨機応変にしていっていただけないでしょうか。コロナ対応もあり受付や準備がドタバタします。(大研修室) →当施設の利用区分は、午前・午後・夜間で分かれており、午前は9時～12時、午後は13時～17時、夜間は17時30分～21時となっております。貸出区分の合間には清掃等のメンテナンスを行っておりますので、現状よりも早い時間での鍵の貸し出しはできません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。 ・窓が開かないので換気ができません。(中研修室) →中研修室は窓が開かない形状となっておりますので、換気扇で定期的に換気を行っています。また、コロナ対策として扇風機を設置しております。利用の際には、ドアを適度に解放し、扇風機を室外に向けて稼働することで、換気を行っていただいております。ご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。 ・冷房になっており、暖房にするにはどうしたらよいかわかりませんでした。(研修室50) →ご利用ありがとうございます。 空調設備の運転モード切り替えは室内前方の壁面に設置されているリモコンで行えます。リモコンの操作方法が不明な場合はスタッフが案内いたします。また、季節によっては、冷房・暖房の選択ができない場合もございます。今後、利用時に不明な点がございましたら、お気軽に2階総合事務所までご連絡ください。 ・料金がもう少し安いとよいのですが。(小研修室1) →部屋代については条例で定められている料金ですので、現状ではご希望に沿うことは出来かねます。しかし、このような意見をいただいたことは市に報告いたします。 ・今日は寒くて暖房が必要だと思った。(小研修室2) →当センターの空調機は他の部屋とエリアを共有しており、部屋ごとに冷暖房を設定することができない仕様となっております。季節の変わり目では、利用者により冷房・暖房の要望が異なりますので、空調機の送風機能や扇風機を用いて可能な限り対応いたします。空調機についてご要望がございましたら、スタッフまでお申し付けください。 ・時計が少し進んでおり、正確でないのが気になります。(小研修室4) →ご不便をおかけして申し訳ありません。すぐにスタッフが確認し、時計を調整いたしました。今後も何かお気づきの点がございましたら、スタッフまでお知らせください。 ・アンケートはそれほど頻繁に取らなくても良いのではないのでしょうか。(和室研修室2) →貴重なご意見ありがとうございます。当センターでは、定期実施のアンケートを通じて、利用いただく皆様の要望を知ること、より満足度の高い施設となるよう努めております。皆様の何気ない一言が愛される施設づくりのヒントとなりますので、今後ご協力いただければ幸いです。 ・部屋は最高ですが、マイクスタンドやアンプのメンテナンスがいまいちのことがある。(音楽スタジオ(大)) →貴重なご意見ありがとうございます。パワーアンプにつきましては、経年使用による消耗があったため新品と交換いたしました。マイクスタンドにつきましても点検を実施し、問題なく使用できることを確認いたしましたので、次回ご利用の際も是非ご利用ください。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	A	A	A
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	S	S	S
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	A	A	A
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	A	A	A
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	S	S	S
区分評価			S			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きくかい離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、閉館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	S	S	S
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民参画部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	S	S	S
		区分評価			S	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	A	A	A
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み に対する評価	新型コロナウイルス感染症対策 - 市の新型コロナウイルス対応方針が、感染状況に応じて改訂される中、その都度、施設の利用について所管課と協議し、迅速に利用の制限(緩和を含む)を行った。また、利用者に対して、電話やホームページ等で改定内容を周知し理解を図った。 - 新型コロナウイルスにより利用を自粛した団体に対し、キャンセルに関わる手続きや料金の支払いが生じないよう、市の指示を仰ぎながら柔軟に対応した。 上半期に実施した新型コロナウイルス感染予防対策を引き続き以下のとおり実施した。 ① 厚労省が作成した「3密」回避と「手洗い」のポスターや、岐阜市長が発出した「コロナ社会を生き抜くための皆様へのお願い」等を館内に掲示し、新型コロナウイルス感染防止に向け、利用者に協力を呼び掛けた。また、受付等人が並ぶ位置や、エレベータに乗る位置を地面に表示し、人と人の距離を確保するよう努めた。 ② 手摺やドアノブ、窓口カウンター、トイレの便座等を定期的にアルコールで消毒した。 ③ 総合受付や生涯学習・ボランティア相談コーナー等、窓口全てに飛沫防止板や飛沫防止シートを設置し、駐車場窓口では、駐車券の受け渡し時に手袋を着用して対応を行った。 ④ 館内の出入口4カ所に手指消毒用アルコールを設置した。また、出入口のドアを常時開放して換気を実施した。さらに、廊下等の換気設備を定期的に稼働するなど空気の入替えを徹底した。 ⑤ 市が作成した「新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート」を基に、施設に応じた独自のチェックシートを作成し、利用者に周知徹底を図った。 ⑥ 貸室においては、既設の換気扇以外に、各部屋に工場扇(サーキュレーター)を設置し、換気の徹底を利用者をお願いした。 ⑦ 貸室や市民活動ルームの利用団体には、手指消毒用と物品消毒用の2種類のアルコールを提供するとともに、消毒に必要な「ペーパータオル」「ビニール手袋」「チャック付きポリ袋(廃棄用)」がセットとなった「消毒セット」を提供し、確実な消毒の実施をお願いした。 ⑧ 車いすの貸出しや印刷コーナーの利用では、利用前・利用後のアルコール消毒を職員が行い、利用者の安全を図った。 ⑨ 日直が毎朝、各職員の体調とマスク着用の有無を確認し、「職員感染予防対策実施確認票」に記入することで、感染拡大防止及び利用者の安全確保に努めた。 ⑩ 「新型コロナウイルス感染症対策実施チェックシート」を漏れなく回収することで、着実な履行確認と、感染者が発生した際の対応に備えた。 ⑪ 感染防止対策を実施している証として、岐阜市が配布する「withコロナステッカー」と岐阜県が配布する「新型コロナ対策実施店舗向けステッカー」をそれぞれ入口に貼付し、利用者の安心につなげた。 ⑫ 接触確認アプリ「COCOA」や岐阜県の「感染警戒QRシステム」の活用を呼び掛け、入口に案内を掲示した。 ⑬ 定期的に(1時間に1回)職員が館内を巡回し、マスクの着用や換気等の有無を確認。必要に応じて助言や指導を行い、新型コロナウイルス感染予防対策の着実な実施に繋げた。 ⑭ 利用者が会場で検温を実施する際、負担を減らす為に、非接触型体温計を貸し出した。 ⑮ 事務室の机に飛沫防止板を設置し、職員同士の感染防止に努めた。 ⑯ 換気対策として、大研修室に空気清浄機2台を設置した。また、CO2濃度計を利用者に貸し出すことで、換気のタイミングを判断する材料を提供した。 ⑰ 総合受付に訪れた方が、検温できるよう非接触体温チェッカーサーモビューアを設置した。 ⑱ 利用者自身で除菌ができるよう、トイレに便座除菌剤を設置し、さらなる安全確保に努めた。 生涯学習センター - 指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」に基づき、所管課との連携を密にし、指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行った。 生涯学習係 - コロナ禍において新たに求められる生活様式や地域課題に関わる講座を企画・実施した。また、受講前の手指消毒・検温・チェック表の提出・受講者間の十分な距離の確保など、感染症対策の徹底を継続し、受講者が安全・安心に参加できる環境を整えた。 - 生涯学習「長良川大学」に市民講師養成学部が新設されたことに伴い、「市民講師養成講座」を実施した。養成した市民講師のリストを作成し、公民館やコミュニティセンターなど地域で活躍できるよう働きかけた。 ① 市民講師養成講座は、自身が学習した成果を他の市民に教える、伝えるために講座運営のノウハウ等を学習する講座を全4回コースで実施した。 ② 市民講師養成講座第1回目は、「講座の企画・運営のコツ」と題し、講師希望者に、自身のスキルを他者に効果的に伝えるためのプログラムの構成方法や、進め方などを提供した。 ③ 市民講師養成講座第3回目は、「伝わる話し方～やさしい日本語～」を開催した。主に日本で暮らす外国人にも伝わるようにと生まれた「やさしい日本語」の基礎を学ぶことで、受講者の立場に立った話し方や伝え方の大切さを学ぶ機会を提供した。 ④ 市民講師ステップアップ講座では、市民講師養成講座の受講者から「実際に市民講師として活動している人の講座を受講したい」との声に応え、新しい生活様式での受付方法や市民講師の講座を実際に受講できる機会を設け、市民と市民が共に学びあえる場を提供した。
--------------------------	---

今期の取り組み
に対する評価

・現代の課題を中心に新たな発見や学びの意欲につながるような講座を企画・実施した。

- ① ハートフルレクチャー「やさしい認知症ケア～ユマニチュードを学ぼう～」では、社会の高齢化が進む中、介護する人、される人両者の不安を取り除き、持っている力をいかした優しく介護できる新しい技法と哲学を提供した。
- ② ハートフルレクチャー「家族のケアを担う子どもたち～ヤングケアラーの現状と課題～」では、現状では社会的認知度が低い「ヤングケアラー」を取り上げ、支援を考える人たちの情報共有の場、ネットワーク構築のきっかけの場を提供した。
- ③ ハートフルレクチャー「今すぐはじめられる口腔ケアで健康増進！」では、誤嚥性肺炎の防止や栄養改善につながる正しい口腔ケアの方法、正しい歯ブラシの選び方や磨き方等、心身の健康増進と生活の質の向上を図る術が学べる機会を提供した。

・安全で安心に講座を受講できるよう、オンラインを活用し、様々な受講手段を提供した。

- ① 中高生のボランティア講座「あなたの「行けた」が、だれかの「行きたい」になる」では、車いすユーザーである講師をオンラインで繋ぎ、自身の経験をもとに、自分らしいボランティアをはじめるきっかけを提供した。
- ② 生涯学習・社会教育関連施設職員のための研修講座「伝わる文章の書き方」では、講師と受講者を直接オンラインで繋ぎ、移動距離や体調にかかわらずそれぞれの場所で同じ内容の講座を受講できる機会を提供した。

・にぎわい創出事業20周年記念展示『かつどうの声』を実施し、施設と共に歩んできた市民活動団体の市内における活動を紹介した。

・生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、新型コロナウイルスの影響を受け、昨年度下半期と比べ、相談件数は84.4% (417→352) に減少した。しかし、きめ細やかな対応に心がけ、コーディネート件数150% (34→51) に挙げた。

文化振興係

・市民芸術祭では、洋楽の部の「岐阜市新進演奏家コンサート」と邦楽の部が緊急事態宣言に伴う会場の休館措置により中止となったが、その他の事業は感染症対策を踏まえたうえで実施した。**4部門20ステージの公演に来場者1,920名、動画配信視聴者58名が訪れ、多様なジャンルの公演を市民に楽しんでいただくことができた。**

・文芸祭では、昨年度と比べて応募人数、応募点数共に減少となったが、短編・詩・歌詞といった定型ではないジャンルへの応募が増加した。**感染症対策のため、作品講評会は中止としたが、表彰式・作品展示は実施し、多くの方に市民の文芸作品を見ていただくことができた。**

・美術展覧会は、2年ぶりの開催に向け開催準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会期直前までの会場施設の休館措置や、休館措置の延長時に考えられる混乱などを鑑みて急遽中止となった。この結果を受け、**次年度は来場者の受入れができない事態でも、HPやSNS上で作品を鑑賞できる方法の導入を検討している。**

・自主企画事業となる文化事業助成では、新型コロナウイルス感染症の影響からの文化活動の再開を受け、9件935,360円の助成を実施した。また、広報活動の強化により、次年度上半期の助成申請は11件を受付し、8件に対し助成予定である。

＜施設管理＞

・利用者アンケートや直接伺った要望を基に施設設備の充実を図った。

- ① マスク着用や飛沫防止板の設置により、案内や説明等の声が聞き取りづらい。
窓口業務マイクシステムを2カ所設置(総合受付・ボランティア相談窓口)
- ② 音楽スタジオの備品を充実して欲しい。
イヤホンモニタの設置・Bluetoothオーディオレシーバーの新規購入・ステレオパワーアンプ等の入替
- ③ プロジェクターが古く見づらい。
プロジェクターの新規購入(貸出用)

・電波法関連法令「無線設備規則の改正」の対応
旧規格のワイヤレスマイクが使えなくなることから、交流サロンで使用するワイヤレスマイクシステムを更新した。

・事故防止対策として、定期点検の他、日常的に施設・設備の点検を行い、**危険箇所や要修繕箇所の早期発見と、迅速な対応を実施した。**

- ① 消防設備修繕
誘導灯バッテリー取替、煙感知器取替、非常時開錠装置取付、非常用発電設備充電回路変更
- ② 空調機器修繕
空調室外機(未更新の207・210系統)不良部品取替、セラミックファンヒーターの設置(暖房不良対応)
- ③ 給排水衛生関係
手洗い用自動水栓修理・男子用小便器ピストンバルブ取替(2カ所)・汚水ポンプ詰まり修繕
- ④ 照明器具修繕(LED化)
天井照明(図書館分館・通路・研修室50・小研修室2)、西出入口サイン、図書館分館スイッチ盤

・経年劣化による汚れや傷んだ箇所の修繕

1階北面扉修繕、防鳥ネット修繕、2階腰壁修繕、鉄扉ドアクローザー修繕、大研修室放送設備修繕、研修室50ブラインドクリーニング及び修理、1階壁面ビクチャーレール取付他

・防犯対策として、防犯カメラでの監視や警備員の巡回に加え、職員が日常的に館内を巡回した。また、**不審者情報等をハートフルスクエアーG全体で共有し、連携して利用者の安全確保に努めた。**

・新型コロナウイルス感染症予防対策として換気の徹底を図った。冬季において、常に換気することで館内の温度が下降したが、暖房の設定温度を上げ、温度調整を行った。

・危機管理の上で、夜勤では不審者対応として必ず男性職員を配置した。また、日勤でも副所長以上の職員を必ず1人は配置し緊急事態に備えた。

今期の取組み
に対する評価

<受入れ事業>

- ・コロナ禍でも利用いただける利用者に対して、安全・安心な環境を提供すること、また、施設として用意できるものは用意することを基本に受入れを行った。同時に、感染予防対策の実施について、利用者に周知徹底を図った。
- ・施設の平等利用を確保するため、毎月1日に施設利用の抽選会を実施した。また、予約システムへの登録を窓口・電話等で積極的に案内した。

<リスク対応>

- ・JR岐阜駅に隣接する施設として、南海トラフ地震発生を想定し、岐阜市帰宅困難者対策マニュアルを検証した。また、**情報伝達訓練として、県、岐阜市、一時滞在施設、交通機関それぞれの連絡体制の確認を行った。**
- ・“応急手当協力事業所”登録施設として、職員全員がAEDを的確に使用できるよう普通救急救命講習を受け、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当や救急隊到着までの応急措置を学んだ。
- ・個人情報保護・情報セキュリティ研修を受け、個人情報保護担当者を配置し、情報漏えいや不適切な情報発信が起きないように個人情報管理の徹底を図った。
- ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。
- ・防災士の資格を取得した職員2名を中心に、緊急時、災害時の対応についてマニュアルを基に共通理解を図った。消防設備の適切な管理や消防避難訓練等により引き続き消防特例認定を受けることができた。

<その他>

- ・快適な公共空間を提供するためアダプトプログラムに参加し、ハートフルスクエアG全体で施設周辺の美化に努めた。
- ・地域貢献事業として、10月24日のFC岐阜 岐阜市ホームタウンデーに合わせて、会場でブースを出展し、FC岐阜応援バッチ作りを行った。参加者は約300人と非常に賑わった。
- ・事業団が実施する研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップを行った。
ワーク・ライフ・バランス研修、女性活躍推進研修、認知症サポーター養成講座、車いす体験・高齢者疑似体験研修、人権研修等
- ・生涯学習・ボランティア相談コーナーにおいて多様化する相談内容に対応するため、「ボランティアコーディネーション力3級」1人の資格を取得するとともに、「ボランティア入門講座」「子どもの人権学習講座」「若者支援クローズアップ講座」「やさしい日本語研修」に参加した。

女性センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき事業を企画・実施。必要に応じて所管課と協議を行いながら、岐阜市における男女共同参画社会の啓発・推進に努めた。

<実施事業>

- ・「ワーク・ライフ・バランス事業」において、コロナ禍で働き方が多様となる中、「自分らしい働き方」を考える機会の提供をした。誰もが仕事と家庭を大切にできる**職場環境づくりの具体的な方策を学んだ**。また、新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、Z o o mによる講座を実施し、対面時と同様に講師と交流することができた。
- ・「大学・短期大学との男女共同参画連携講座」において、古典文化を取り上げ、**苦悩が多い当時の女性の生き方を学び、コロナ禍での「自分らしい生き方」について考える機会を提供した**。満足度88%であり、高い結果となった。
- ・「キャリアコンサルタント」の資格を有している職員が講師となり、「お出かけお迎え！男女共同参画出張セミナー」を岐阜医療科学大学にて実施した。日常生活における男女共同参画社会の実現を阻む問題点(出産、育児、子育て等)を提示し、「男女共同参画の必要性」や、「ライフキャリア」について考える機会を提供した。
- ・「女性の学び・働くスキルアップセミナー」を岐阜市とNPO法人との共催で実施した。講座受講者と**民間企業をマッチング**させ、起業・副業への意欲を促進した。また、**新たなつながりを創出**することもでき、**満足度は100%であった**。
- ・これまで発行してきた女性センター広報誌「NEWS」の掲載記事の中で、特に関心が高かった男女共同参画に関する情報を取り上げ、特集号「Lens」を発行した。読みやすい表記に心がけ、イラストやレイアウトを工夫したことから、**大学から学生配布への要望があり、好評を得た**。
- ・「ぎふし男女共同参画情報紙『織』」において、**岐阜市立女子短期大学の学生を編集委員**に加え、学生ならではの視点で作成した。**女性の従事者率が低い職業である1級自動車整備士と医師にインタビューを行い、学生にとっての職業選択の幅を広げるきっかけとすることができた**。
- ・「男女共同参画つながり創出事業」において、「頭の中に思い描いたことを現実化するイメージトレーニング」の手法を学ぶことにより、「**自分を信じて行動を変えていくことで望む未来を創れる**」ことを学んだ。**予定人数をはるかに超える応募があり、広い会場に変更**したことから、より**多くの市民が受講**できるよう配慮した。
- ・「女性の生き方・働き方大相談会」を、**感染防止対策を徹底し対面相談を実施**した。また、**電話相談の導入や託児を再開**し、相談者に寄り添い**個々のニーズに配慮**した。

<その他>

- ・ワーク・ライフ・バランスの日とDV防止週間に合わせて、図書館分館と協働で関連図書の展示を行い、**図書を活用した啓発**に取り組んだ。
- ・女性センターの電話相談を「あんしんつながりステーション岐阜駅東」に移動させたことで、**昨年度同時期より電話相談が100件以上増加した**。ステーション相談員と連携しながら、電話相談から挙げられる困りごとをより専門的な支援先へ繋げた。

前回までの意見の 取り組み状況	生涯学習センター ・ コロナ禍の影響により表出化した現代的課題に対応するため、「家族のケアを担う子どもたち～ヤングケアラーの現状と課題～」や「やさしさを届ける認知症ケア～ユマニチュードを学ぼう～」や「誰も取りこぼさない社会～子ども食堂の現状と課題～」などの講座を実施した。 ・ コロナ禍で活動の場を失っている市民活動団体やボランティアに対して、「生涯学習・ボランティア通信」(4回)による情報提供や、展示発表の場を提供し、活動を継続するための後押しをした。 ・ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、活動の場を失っている市民活動団体やボランティアに対して、活動のための準備時期ととらえ、市民講師ステップアップ講座「新しい生活様式に沿った講座運営のコツ～アイスブレイク編～」やボランティアコーディネーター力3級の受講を勧めた。 女性センター ・ 職員全員がオンラインでの講座対応のスキルを身につけたことから、新型コロナウイルス感染拡大により、オンラインへの急な変更にも対処することができ、おおむね主催事業を中止することなく開催することができた。 ・ 「女性の学び・働くスキルアップセミナー」において、マッチング交流会に積極的に参加できるよう、直接受講者に声を掛け参加促進を図った。また、交流会開催後、女性センター専門相談を活用しフォローアップを行うことができた。 ・ 7月から受託した「女性と社会のつながりサポート事業」において、複数のNPO法人等の知見を生かすとともに、行政機関や専門機関と連携し、女性の困りごとなどへの伴走型支援を行った。
今後の取り組み	・ 指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行っている。 生涯学習センター ・ 生涯学習拠点施設として「生涯学習によるまちづくり」と「生涯活躍社会」の構築を目指し、職員全員が引き続き共通理解のもとで、施設運営及び事業実施に取り組む。 ・ 市民講師養成事業で養成した人材が地域で活躍できるよう公民館やコミュニティセンターなどにより一層連携を深める。 ・ 新型コロナウイルスの影響で、活動に不安を感じている人が、安心して活動できるよう「新しい生活様式に沿った活動方法」や「活動のリスクマネジメント」の情報を提供する。 ・ 岐阜市美術展覧会は昨年に引き続き今年度も事業が中止となり、市民に作品発表の場を提供することができていない。既存の出品者の高齢化や、創作活動の多様化を受け、近年は出品点数の減少傾向がみられていたことも踏まえ、募集部門の見直しや作品規格の見直しを協議していく。 ・ 文化事業助成金の交付を通じ、活動を自粛されていた文化芸術団体の成果発表活動を後押しできるよう、広報活動の多様化を進め、多くの人に周知されるよう取り組む。 女性センター ・ 男女共同参画拠点施設として、「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、男女共同参画社会の実現を目指した講座の充実を図る。 ・ 心とからだ性の健康関連講座において、女性のライフステージと様々な身体変化などについて学ぶ学習機会を提供する。 ・ 男女共同参画週間事業において、それぞれの価値観を認め合い、性別にかかわらず誰もが自分らしく生きることができるよう、幸せになるメカニズムを学び、家族や職場、あらゆるコミュニケーションの場で活かす機会を提供する。 ・ 「自宅」と「職場」に次ぐ「サード・プレイス」(第3の居場所)として、会話を楽しみ、心と身体がリラックスできる時間と空間(居場所)を提供する。また、女性センター窓口を併設し、顔の見えるセンターを構築する。

●所管課の意見

生涯学習センター

・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、市の対応方針が改訂される中、館内のポスターやホームページ等で改定内容を周知するだけでなく、その都度、予約団体全てに電話で連絡し、改定内容を伝え理解を図るなど、利用者に対し、丁寧な対応がとれていることは評価できる。

・生涯学習「長良川大学」市民講師養成学部の新設に伴う「市民講師養成講座」により養成した市民講師リストを作成し、公民館やコミュニティセンターなど地域で活躍できるよう働きかけするなど新規事業に積極的に取り組んでいる。

・施設の日常点検及び定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために努めている。

・利用者の要望をもとに、窓口業務マイクシステムの設置や、音楽スタジオ備品（イヤフォンモニター、Bluetoothオーディオレシーバー）、貸出用プロジェクターの購入など施設設備の充実を図っており評価できる。

・文化振興業務においても、事業計画に基づき、岐阜市の施策に沿った事業が積極的に実施されている。新型コロナウイルス感染症拡大の中でまん延防止等重点措置区域の指定等による影響により、やむなく「第73回岐阜市美術展覧会」、「第34回岐阜市民芸術祭 邦楽の部、洋楽の部」は中止の判断をした。

コロナ禍の中で、芸術祭は、来場を控える方や遠隔地に在住する方でも鑑賞できるよう、昨年度から引き続きオンライン上での動画配信を行い、対象を限定することなく、文化芸術の機会を提供するよう努めた点を評価する。2年連続開催できていない美術展覧会をはじめ、芸術祭、文芸祭の開催について、コロナウイルス感染症への万全な取り組みの下、各事業、開催有無の判断や実施方法を工夫し、参加者及び出演者に対して柔軟に対応した。岐阜市芸術文化協会と連携し、リレートーク、まちかどコンサート及び広報紙の発行に係る補助の実施や自主企画である文化事業助成や岐阜市芸術文化奨励賞の実施をした。今後関係団体と連携し、コロナ禍の中での充実した内容になることを期待する。

女性センター

・対面講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、前年度からの新型コロナウイルス感染予防対策を引き続き実施することにより、中止することなく講座を実施することができている。また、新型コロナウイルス感染症の影響に考慮し、対面講座と同時に動画配信も実施しており、安心して受講できるよう配慮されている。

・また、新規事業である「学び・働くスキルアップセミナー」においては、他機関と連携し就労を希望する女性に対して伴走型の支援を提供されている。他機関と密に調整を図りながら、就労に向けたセミナーを着実に進められていることは評価でき、1月に実施したマッチング交流会では、受講者の成果を各企業へプレゼンテーションすることにより、マッチングを4組成立させることができた。引き続き、就労意欲のある女性に寄り添いながらキャリア支援に努めていただきたい。

・指定管理事業外で「コロナ禍における女性と社会のつながりサポート事業」を受託し、新たにあんしんつながりステーションが開設され、女性センターとして指定管理業務とも調整しながら、適切に窓口業務が実施できるよう運営していることも評価できる。長引くコロナ禍の中で、相談件数も増加しており、今後もより一層女性の困りごとに対処できるよう、指定管理事業での相談業務と、新たにオープンした窓口業務とコラボレーションしながら、相談者に寄り添った事業展開を期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

・講座の内容の選定について、ヤングケアラーや子ども食堂に関するものなど社会課題に対応した良い内容である。関係機関等と連携して、多くの人に受講していただけるよう工夫してほしい。

・今後も新型コロナウイルス感染症により講座が中止となる可能性は残ると思うが、講師にとっても受講者にとっても残念なことであり、例えば、最初から予備日を設けておくといった工夫を検討してほしい。

・スタッフが様々な資格を取得していることを評価したい。引き続き努力していただきたい。

・講座のコンテンツが一番のコアであると思うので、どのように選定しているのかのプロセス、探してくるノウハウを残しておくといい。